

# 病理検体についての注意事項

対象のがん種 固形がん

検体の種類 FFPE検体\*

\*:ホルマリン固定パラフィン包埋 (Formalin-Fixed, paraffin-Embedded) 検体

## FFPE検体作製

- 固定には、10%中性緩衝ホルマリン溶液以外の固定剤を用いしないでください。6~72時間浸漬固定することを推奨します。
- 酸脱灰操作は行わないでください。脱灰が必要な場合は、EDTAを主成分とする中性脱灰液を使用してください。

# スライド作成時について

## スライド作製

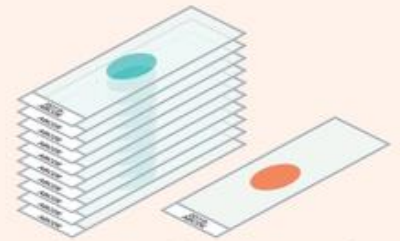
### 〈必要検体量〉

- FFPE検体のHE染色スライド1枚と未染色スライドを作製してください。
- 未染色スライドは厚さ4~5 $\mu$ mの切片を合計体積として1mm<sup>3</sup>以上\*となるように作製してください。

\*: 表面積25mm<sup>2</sup>以上の場合は、厚さ4~5 $\mu$ mの組織切片を10枚作製してください。  
表面積25mm<sup>2</sup>未満の場合は、切片の合計体積が1mm<sup>3</sup>以上になるように、未染色スライドを10枚以上作製してください。

### 〈その他の注意点〉

- 未染色スライドは正電荷スライドガラス(剥離防止コートスライドガラス)を用い、伸展・乾燥のための加熱(ベーキング)は避けてください。
- 1枚のスライドには、一つの切片のみとし、全て同一のブロックから薄切してください。
- 未染色スライドが10枚未満の場合は、検査を受け付けることができません。
- FFPE検体は、薄切後12ヵ月以内のものを使用してください。



FFPE未染色スライド(合計体積1mm<sup>3</sup>以上)  
+  
HE染色スライド1枚(1スライド 1切片)



### 〈スライド上の切片数〉

- 1枚のスライドには、一つの切片のみを載せてください。1枚のスライドに複数の切片が載っている場合は、検査を受け付けることができません。

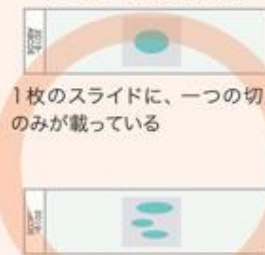
## 腫瘍細胞割合

- 有核腫瘍細胞の割合 (マクロダイセクション\*<sup>1</sup>後の領域として)
  - 最適:30%以上\*<sup>2</sup>
  - 最低:20%以上

\*1: マクロダイセクションはFMIで実施するため、医療機関での実施は不要です

\*2: 肝細胞のDNA量は他の体細胞の2倍であるため、検体が肝組織の場合はより多くの腫瘍細胞割合が必要です

### 〈受け付け可能な例〉



1枚のスライドに、一つの切片のみが載っている

針生検検体の場合、一つのブロックに同時に採取した複数のコアが包埋されている

### 〈受け付け不可の例〉



1枚のスライドに、複数の切片が載っている

異なるブロックから作製したスライドの組み合わせになっている